

次の一手の戦略求めて メンテナンスと現場力で講演会



上、顧客サポートの強化を
キーワードに
挙げて「AS
K A G F A
をコンセン
トに組織、人
材づくりを行
う」と述べた。

また、松石社長は「アグファのお客様は他社で使っているという理由ではなく、技術的な知見を持って選んでいただいている。このため、厳しい経済状況であった昨年においてもユーザー企業のおいでもユーザー企業の倒産はゼロであった。当社にはさまざまなプロが揃っているので、お困りのことがあればいつでも声をかけてほしい」と呼びかけた。

◆「ASK AGFA」がコンセプト

アグファグラフィックスのアジアパシフィック代表責任者であるティム・ヴァン・デン・ボッシュ氏がアグファの今後の戦略を発表した。そのなかで同氏は、「紙メディアへの情報印刷分野ではワークフローの開発、そして紙以外の産業用印刷分野においては革新的なデジタルソリューションの開発に注力していく」と報告。アグファグラフィックスの売上の24%を占め、伸長しているアジアパシフィック市場への積極的な投資を進めることも明かした。また、マーケティング戦略として、プリプレスやソフトウェアの開発や専門性の向

◆速乾印刷で利益向上
(株)東京テックプラスの代表取締役で印刷技術コンサルタントとして活躍する加藤隆行氏の講演「速乾と汚れのない印刷を目指しメンテナンスによる現場力の向上」が行われた。

加藤氏は、近年の印刷現場について「機長、サブ、紙積みなどの役割分担が行われ、腕のよい職人頼みという会社が今でも多い。そのような職人

印刷情報
A4判年間別誌 1,500円税別
印刷関連技術専門誌

はコツと勘で印刷しているものであって若手も伸びない。まさに時代遅れの昭和の印刷」と指摘。「数値化できるものが技術であり、数値に基づいて全員が機長として活躍することが平成の印刷である」と速乾印刷の前提となる数値管理の重要性を説いた。
そして、油性印刷の乾燥時間を短縮させるには「適正濃度での印刷とローラー調整、湿し水管理の3要素のバランスの上になり立つ」と説明し

た。インキロールのグレース除去の徹底、水極関係、湿し水のpH確認など事例を挙げながらポイントを紹介した加藤氏は「すべての条件がクリアできれば数分で乾燥が可能。ムダな時間が減ることでも人材を効率的に配置し、残業時間も減少する。インキも最小限で最大濃度が出せるようになり、さまざまなコストを削減することができると生産の再構築による利益向上の可能性を示した。

新社長に 蓮見俊夫氏 4月1日 D I C グラフィックス

D I C グラフィックス株式会社は、沖寛治氏が代表取締役社長を退任し、スペシャリティ樹脂事業部長、ポリエステル本部長委嘱の蓮見俊夫氏が代表取締役社長に就任する人事を発表した。就任は4月1日。

平田憲行氏 オープンエンド社長

株式会社オープンエンド(東京都豊島区)代表取締役社長の平田憲行氏は、かねてより病氣療養中のところ、2月14日午前7時に死去した。享年62歳。
通夜は2月19日、告別式は20日に埼玉県新座市の東上セレモニーホール新座で執り行われた。喪主は平田直紀氏。